

User's Manual
取扱・取付説明書

HORNET[®]

Auto Security Systems

SECURITY INNOVATION

HORNETドライブレコーダー

SDR300H



常に安心

走行中も 駐車中も

カーセキュリティ連動型ドライブレコーダー



「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
 とうございます。

ご使用の前に本書に記した注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でより長くご愛用くださるようお願い致します。

本書は無くさないよう、大切に保管しておいてください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気づきの点がありましたら、加藤電機株式会社までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2020年2月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET®は加藤電機株式会社の登録商標です。
 記載されている会社名、システム名、製品名は各社の登録商標または商標です。

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意.....	5
使用上の注意.....	5
製品の説明	7
HORNETドライブレコーダーとは.....	7
SDR300Hの梱包物	8
各部名称.....	9
取付方法.....	10
microSDカードの入れ方／取り外し方／フォーマット方法.....	12
液晶モニター画面の説明	13
録画する	14
録画の種類	14
常時録画.....	15
イベント録画.....	15
ワンタッチ音声録音 ON/OFF	16
記録媒体について (microSDカード)	17
録画領域.....	18
録画映像を再生する	19
本体で再生する	19
パソコンで再生する	21
各種設定	22
故障かな?と思ったら	24
アフターサービス	25
アフターサービスについて	25
セキュリティラウンジあんしんサポートについて	25
保証書について	25
修理を依頼されるときは	25
仕様	26
お問い合わせ先	27

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、アクセサリを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



強制・制約・指示等を表す記号。

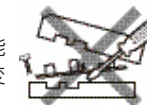
※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意



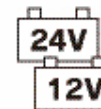
警告

- オプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。
- 車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。知識のない方が取り付けを行うと車両、製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
- 本製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切していません。



危険

- 知識のない方が取り付けを行うと車両、システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
- DC12V/24V車両専用です。DC12V/24V車両以外には装着できません。



使用上の注意



必ずお読みください

- エンジン停止中に、車両シガーソケットの電源が0Vにならない車は、カーセキュリティ連動用ハーネス655S (別売) が必要になります。
- 本製品で記録された映像は、事故等の原因調査、検証等に役立つ事は目的の一つですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 製品の動作を確かめる為に、急発進・急ブレーキや追突等の危険運転はお止めください。
- LED式信号機等の光が点滅する被写体は、本製品で撮影すると点滅、消灯して撮影・再生したり、色の識別が難しい場合があります。
- 本製品は車両の走行状態、事故時の状況、駐車中の車両に対する犯罪などを記録するための機器です。その他の目的には使用しないでください。
- 本製品で記録した映像は、ご利用目的やご利用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合があります。本製品およびその記録データの使用については、法令等に従って、十分にご注意ください。
- 本製品は、日本国内での使用を前提として設計されています。その為、日本国外でのご使用は保証の対象外となります。
- 本製品は精密機器です。絶対に落下させないでください。また、落下した製品は使用しないでください。
- 本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は本製品のみならず車両の機器を破損する恐れがあります。
- ドライブレコーダー本体、シガープラグコードに、お買い上げの日から1年間の保証がついています。その他の付属品(P8参照)は保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。
※シガープラグコードを改造した場合は、保証対象外になります。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 映像が記録されなかった場合や記録された映像やデータが破損している場合等による損害、本製品の故障や本製品を使用する事によって生じた損害について、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失など)に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- お客様または第三者が本製品の使用を誤ったとき、本製品の故障などにより、記録されなかった場合、および、記録されていたデータが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- 不適切な使用及び装着、改造による事故について、弊社は一切の責任を負いません。
- 弊社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは行っていません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品をイタズラ等、他人の迷惑となる行為に使用しないでください。弊社は一切の責任を負いません。

録画についての注意

- 本製品は作動の有無にかかわらず、全ての状況において、映像やデータを記録する事を保証する事はできません。
- 本機は連続記録や衝撃(加速度)を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- 運転者は走行中に液晶モニター等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ録画をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- 本機以外で記録した映像を見るためには、パソコンおよびSDカードリーダーライターが必要です。必要な機器は、別途ご準備ください。

SDカードについての注意

- 付属品以外のmicroSDカードをご利用いただく場合は、記録媒体の仕様をご確認の上、必要に応じてご準備ください。仕様に合致していても動作しない可能性がありますのでご了承ください。
- 安心してご利用いただくために、microSDカードは1カ月に1回はフォーマットしてご利用ください。microSDカードは消耗品です。寿命がありますので定期的な交換をお勧めします。
- SDカードを取り出すときは、本機の電源が切れている(液晶モニターが消灯している)ことを確認してから、SDカードを取り出してください。SDカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- SDカードをフォーマットする際は必ず本機で行ってください。
- パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- SDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、付属のSDカードや本機の故障の原因となります。
- microSDカードは保証対象外です。

HORNETドライブレコーダーとは

本製品は、運転中や駐車中などに映像や音声を記録することができます。

コンパクトで高画質なデュアルカメラ設計で前方カメラ200万画素・フルHD、車内カメラ100万画素・HDと2つのカメラで同時に記録できます。(別売の後方カメラを接続した場合、3カメラ同時録画)前方カメラは30fpsで滑らかな映像を記録し、スーパーナイトアイ搭載で夜間でも目視に近い鮮明な映像を記録します。車内カメラはF1.8値のレンズを採用し、赤外線LEDも搭載しているため暗闇でも鮮明な映像を記録します。また、利用可能な温度範囲が-30℃~65℃まで対応しており北海道などの寒冷地でも安心してご利用いただけます。

また、HORNET701VS(別売)と連動してご使用いただくことで、セキュリティのセンサーが異常を検知した場合に自動的に車両周辺を記録でき、非常時には専用のリモコン操作でドライブレコーダーを遠隔起動して車両周辺を記録することができ防犯性の高いシステムを構築することができます。

常時録画

エンジン始動(ACC ON)^{*1}からエンジン停止(ACC OFF)^{*1}まで映像と音声を連続記録します。

※1 車両や電源の取得先によって、ドライブレコーダーの起動(記録開始)タイミングは変わります。

イベント録画

本体に搭載されたGセンサーが事故などによる衝撃を検出し、イベント録画として映像と音声を記録します。

手動録画

本体下部のボタン操作でイベント録画として映像と音声を記録することができます。

SDR300Hの梱包物



ドライブレコーダー本体×1
ブラケット(両面テープ付)×1



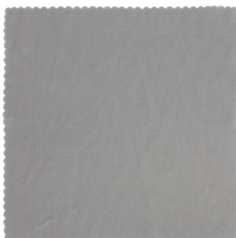
シガープラグコード×1



外貼りタイプステッカー×1



内貼りタイプステッカー×2



クリーニングクロス×1



microSDHCカード(32GB)×1



SDカード変換アダプター×1

簡易説明書×1

保証書×1

※ステッカーの再発行は行っていません。
※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

注意

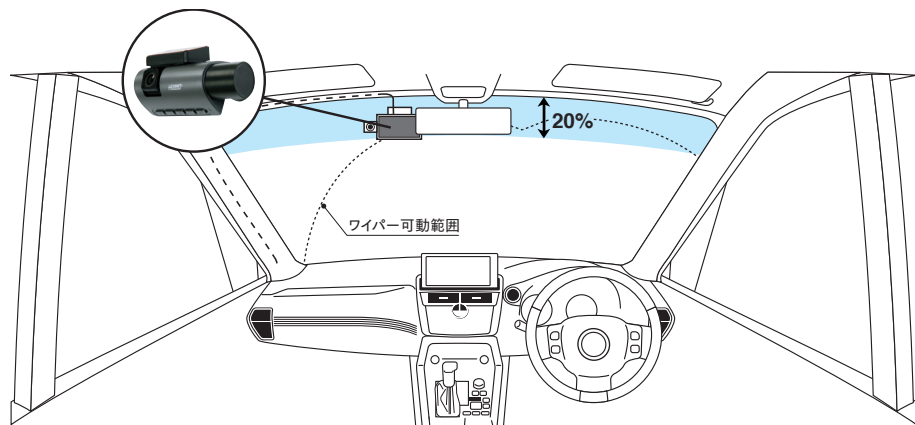
ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。
側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。

各部名称



取付方法

ドライブレコーダー本体の取付指定位置



⚠ 注意

- フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。フロントガラス上部より20%以内になるように設置してください。
【保安基準29条(窓ガラス)、細目告示第195条および別添37】
※前方カメラがワイパーの可動範囲に入るように取り付けすることをお勧めします。
※運転支援機能装着車は、設置位置の制限があります。
※シガーソケット非装着車は、カーセキュリティ連動用ハーネス655S(別売)が必要になります。
- 地デジなどテレビアンテナの近くや、電装品の近くに本機を設置するとテレビの受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる場合があります。
- 車検ステッカー部や点検整備済みステッカー部は避けて設置してください。

1 ブラケットをフロントガラスに固定します。

ブラケットと本体から外して固定してください。



2 本体をブラケットに取り付けします。

※カチッと音がするまでしっかり押し込んでください。



3 前方カメラが水平になるように調整します。

角度調整30°



4 車内カメラの向きを調整します。

※車内カメラを前方に向けると画像が上下逆になります。

角度調整300°



5 シガープラグコードをひきまわします。

※運転の妨げにならないようにしてください。

6 シガープラグコードを差し込みます。

- カメラについている保護フィルムは外してご使用ください。

⚠ 注意

- ブラケットを取り付ける面は油分や汚れをきれいに落としてください。
- ガラスクリーナー等は使用しないでください。剥がれの原因になります。
- 一度貼り付けた両面テープは再利用しないでください。剥がれの原因になります。
- 気温が低い場合、両面テープの粘着力が弱くなるため、ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けてください。

microSDカードの入れ方／取り外し方／フォーマット方法

microSDカードの入れ方

1. 車両のエンジンを停止し、液晶モニターが消灯していることを確認してください。
2. microSDカードの向きに注意し、microSDカード挿入口に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



microSDカードの取り外し方

1. 車両のエンジンを停止し、液晶モニターが消灯していることを確認してください。
2. microSDカードを押し込むと、少し飛び出てくるので飛び出た部分をつまんで引き抜いてください。
※microSDカードの落下・紛失にご注意ください。

microSDカードのフォーマット方法

初めてご使用になる際や1か月に1度は、必ず本機でフォーマットを行ってください。フォーマットは各種設定のフォーマットから行ってください。
※パソコンによるSDカードのフォーマットとは異なります。
※フォーマットを行うと録画データが削除されます。必要に応じてパソコンなどの別の場所に保存してください。



注意

- 車両は安全な場所に駐車してください。
- エンジンを停止してから操作を行ってください。

液晶モニター画面の説明



	本体下部のメニューボタンを押すとメニュー画面に移行します。各種設定 (P22参照) メニュー画面表示中は記録しません。
	本体下部のUPボタンを押すと音量設定画面に移行します。
	本体下部の電源ボタンを押すとモニターの表示が変わります。(前方+車内⇒前方⇒車内⇒前方+車内⇒...) 電源ボタンを約2秒間押すとドライブレコーダーの電源をON/OFFします。
	本体下部のDOWNボタンを押すと録音のON/OFFをします。ワンタッチ音声録音 (P16参照)
	本体下部の決定ボタンを押すと手動録画のON/OFFをします。イベント録画 手動 (P15参照)

録画の種類

録画方法は大きく分けて「常時録画」と「イベント録画」の2種類あります。

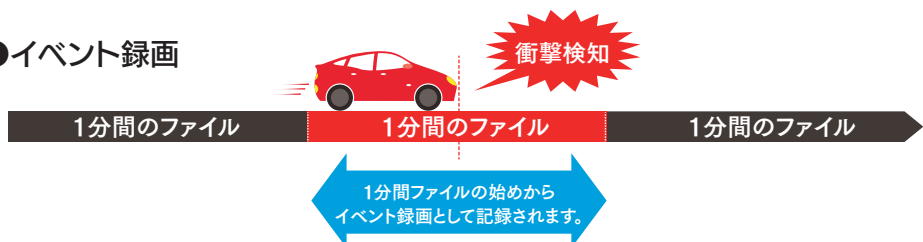
●常時録画

エンジン始動(常時録画開始)

エンジン停止(常時録画停止)



●イベント録画



※録画ファイル時間は1分/2分/3分から選択可能です。(初期設定:1分)

●microSDカードが未挿入や認識できない場合、エラーメッセージが表示された場合は録画できません。

ループ録画機能

microSDカードの保存領域がなくなっても自動的に古いファイルから上書きし、最新の映像を記録します。

トリプル録画機能

前方カメラ、車内カメラ、後方カメラ(別売)の3カメラ同時記録が可能です。

常時録画

エンジン始動(ACC ON)^{*1}からエンジン停止(ACC OFF)^{*1}まで映像と音声をmicroSDカードに連続記録します。保存しておける時間数やファイル数は、使用するカメラの数や設定内容、microSDカードの容量によって異なります。(P17参照)

本機はループ録画機能のため、microSDカードの容量がいっぱいになった場合、古いデータから順に上書きで記録します。必要なファイルはパソコンなどに保存してください。

HORNET 701VSと連動してご使用の場合、「リモコン録画」や威嚇時の録画は常時録画として記録されます。メニューボタンを押して、メニュー画面表示中は記録していません。

※1 車両や電源の取得先によって、ドライブレコーダーの起動(記録開始)タイミングは変わります。

イベント録画

イベント録画にはGセンサー(衝撃)で検知したときと、手動でボタンを押した時の2種類あります。

●Gセンサー

本体内蔵のGセンサー(衝撃)が検知したときに、録画中のファイルをイベントフォルダに移動します。Gセンサーの感度は設定変更可能です。(初期設定:低)(P23参照)

●手動(手動録画)

常時録画中に本体下部の決定ボタンを押すと録画中のファイルをイベントフォルダに移動します。本機はループ録画機能のため、microSDカードの容量がいっぱいになった場合、古いデータから順に上書きで記録します。イベント録画中は録画中のファイル時間表示が黄色になり、ロックのアイコンに切り替わります。イベント録画中に本体下部の決定ボタンを押すと、常時録画に移行します。



↑
決定ボタン

ワンタッチ音声録音 ON/OFF

録画中に本体下部のDOWNボタンを押すと録音を中止し、映像のみ記録します。
もう一度、本体下部のDOWNボタンを押すと録音を開始します。
録音していないとき、右上のマイクのアイコンに赤い斜線が入ります。



↑
DOWNボタン

記録媒体について(microSDカード)

下記仕様のmicroSDカードをご利用ください。
記録媒体……………microSDHC/microSDXCカード
容量……………8~128GB
スピードクラス……………Class10
バスインターフェーススピード……………UHS-I, UHS-II
※上記仕様を満たしていてもご利用頂けない場合があります。あらかじめご了承ください。

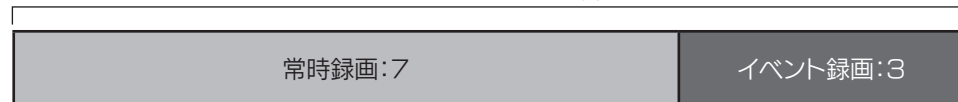
microSDカード(容量)	前方カメラの設定	常時録画	イベント録画
8G	FULL HD	約31分	約13分
	HD	約58分	約25分
16G	FULL HD	約66分	約28分
	HD	約122分	約52分
32G	FULL HD	約136分	約58分
	HD	約249分	約106分
64G	FULL HD	約275分	約117分
	HD	約504分	約216分
128G	FULL HD	約553分	約237分
	HD	約1014分	約434分

※上記はあくまで目安で、記録時間を保証するものではありません。
※前方カメラはFULL HD/HDの設定が可能です。車内カメラはHD設定のみです。
※工場出荷時は太文字です。

録画領域

常時録画とイベント録画領域の割合は7:3で固定です。

microSDカードの全容量



例) 32GBの場合



※上記はあくまで目安で、保証するものではありません。

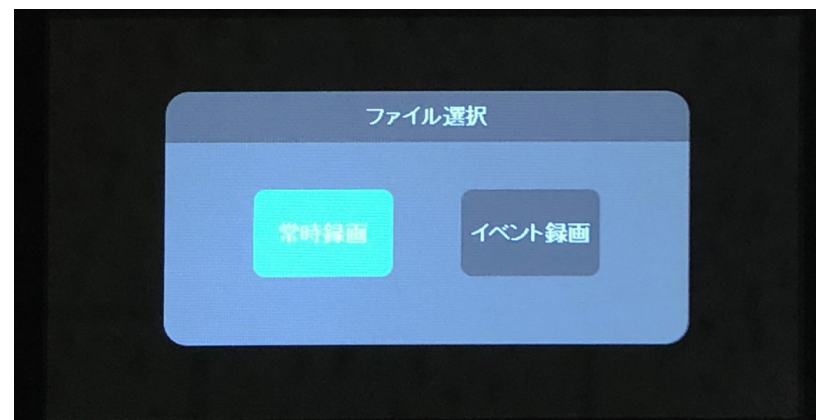
本体で再生する

- ①本体下部のメニューボタンを押して、メニュー画面を表示させます。
- ②ファイル選択を選択します。(本体下部のUP/DOWNボタンで移動し、決定ボタンを押します。)

【メニュー画面】



- ③再生したいフォルダを選択します。



④再生したい録画ファイルを選択します。



パソコンで再生する

microSDカードを本体から抜き取りパソコンに接続してください。

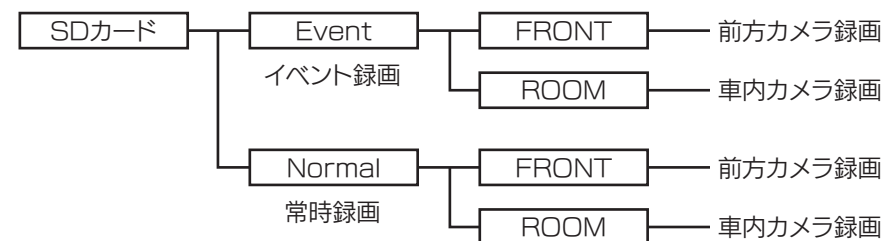
※microSDカードの取り外し方はP12参照

ファイルは.mov方式で記録されています。

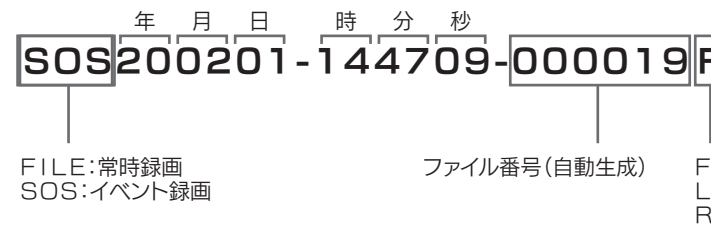
パソコンの動画再生ソフトで再生してください。

※音声が出ない場合は他の動画再生ソフトを使用するかパソコンや動画ソフトの設定、コーデックなど確認してください。

●フォルダー構成



●ファイル名称は以下の内容で保存されます。



【メニュー画面】



メニュー画面の操作方法

UP/DOWNボタンで移動します。
決定ボタンを押すと決定します。



アイコン	説明
モニター	設定を終了し常時録画を開始します。
日付/時刻	日付を設定できます。
ファイル選択	録画したファイルを再生します。 再生方法はP19を参照ください。

機能設定	<p>各種機能設定を変更できます。※下線が初期設定です。</p> <p>録画サイズ : Full HD / HD 前方カメラの録画サイズを設定します。 ※車内カメラはHDのみです。</p> <p>1ファイル時間 : 1分 / 2分 / 3分 1ファイルの録画時間を設定します。</p> <p>音声録音 : ON / OFF 録画時の音声録音を設定します。</p> <p>音量 : 操作音量やファイル再生時の音量を設定します。</p> <p>操作音 : ON / OFF 操作時の音を設定します。</p> <p>画面自動オフ : OFF / 1分 / 3分 ドライブレコーダー作動中に自動的に液晶モニターをOFFにする設定をします。</p> <p>Gセンサー感度 : OFF / 高 / 中 / 低 Gセンサーの感度を設定します。</p> <p>言語 : 英語 / 簡体中文 / 繁体中文 / 日本語 言語の設定をします。</p> <p>表示項目 : 全表示 / 日時 / OFF パソコンなどで録画ファイルを再生する時に右下に表示する内容を設定します。設定後に録画されたファイルから表示項目が反映します。</p> <p>光源周波数 : 50Hz / 60Hz お住まいの地域の電気の周波数を設定します。</p> <p>データ削除 : 録画したファイルの削除を行います。 1ファイルの削除、全削除が行えます。</p>
フォーマット	microSDカードのフォーマットを行います。
カメラ選択	録画するカメラを選択します。 前方+後方 / 前方+車内 / 前方+車内+後方 ※後方カメラは別途オプションが必要になります。 ※後方カメラを接続していない状態で後方カメラを選択すると、後方カメラ部分は録画しません。
設定初期化	各種機能設定を初期化します。
製品情報	本機の情報を表示します。

症状	対処方法
電源が入らない。	シガープラグコードが電源接続コネクタやシガーソケットにしっかり差し込まれているか確認してください。
	本体にシガープラグコードを差し込む際に、メニューボタンを押した場合、画面が黒くなり、ソフトアップデートモードに移行します。本体からシガープラグコードを抜いて、約3分間経ってから再度シガープラグコードを本体に差し込んでください。
映像が録画できない。	microSDカードが認識されている(画面にエラーメッセージが出ていないか)か確認してください。
音声が入録音できない。	ワンタッチ音声録音や各種設定の機能設定の音声録音を確認してください。
録音されたはずのファイルが見つからない。	常時録画、イベント録画ともにループ録画(上書き)されます。必要なファイルはパソコンなどに保存してください。記録媒体により録画データの保存容量が異なります。(P18参照)

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理を承ります。
- 本製品の無償保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理を承ります。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

セキュリティラウンジあんしんサポートについて

- 製品を長く安心してご使用していただけるサービスとしてセキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めします。
- ご登録いただきますと製品保証の延長や工賃、製品代のサポートなどを受けることができます。ぜひセキュリティラウンジあんしんサポートの登録をお願いいたします。詳しくは弊社HPをご覧ください。<http://www.security-lounge.com/>



保証書について

- 製品保証書は同梱しております。ご購入の際には大切に保管してください。なお、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P.24)の対処方法をお試しください。
- 修理をご依頼の際は、購入先の販売店へご依頼ください。このとき、下記事項と保証書を必ずご提示ください。
 - 1 製品名、型式名、シリアル番号
(例：ホーネットドライブレコーダー SDR300H)
 - 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
 - 3 お買い上げ年月日
 - 4 お買い上げ店名
 - 5 お名前、住所、連絡先電話番号
- お送りいただきました修理品が製品交換になった場合、お送りいただきました修理品は返却いたしかねますのでご了承ください。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くのセキュリティラウンジまたはホーネット取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、修理を依頼されるときの送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 記録媒体は当社にご送付いただかないようお客様で保管をお願いいたします。

品名	HORNETドライブレコーダー
型式	SDR300H
電源電圧	DC12V/24V シガープラグコード付属(約3.5m)
消費電力	約3W
ドライブレコーダー本体外形寸法/重量	約120mm×67mm×40mm/約110g
使用周囲温度	-30℃~+65℃
日時設定	カレンダー機能・リアルタイムクロック(充電池内蔵)
記録媒体	microSDHC/SDXCカード class10(8GB~128GB)
有効画素数	前方カメラ(200万画素) 車内カメラ(100万画素)
記録画角	前方カメラ(水平約111°、垂直約59°、対角約136°) 車内カメラ(水平約110°、垂直約58°、対角約130°)
F値	前方カメラ(F2.2) 車内カメラ(F1.8)
フレームレート	前方カメラ(30fps) 車内カメラ(25fps)
画像技術	デジタルHDR
Gセンサー	3段階の感度調整が可能
録画サイズ	前方カメラ(1920P×1080P) Full HD 車内カメラ(1280P×720P) HD
録画方式	常時録画/イベント録画/手動録画
録画ファイル時間	1分/2分/3分から選択
液晶モニター	3.0インチIPS方式
音声録音	ワンタッチON/OFF可能
言語表示	日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)
録画フォーマット	動画 MOV(H.264)
記録映像再生方法	本機液晶モニターおよびパソコンなど

●製品に関するお問い合わせはこちらから

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

<http://www.kato-denki.com/support/index.html>

